

## 蔵開き

この春、県内各地の蔵開きに足を運びました。臨時列車やシャトルバスの手配、その日限りの特別酒の販売など、随所に工夫を凝らしたおもてなしが提供され、お客さまも皆大満足でした。お酒の楽しさと素晴らしさを実感させていただいた関係者の皆さまに、心よりお礼申し上げます。

自然が相手の酒造り。その労力たるや、想像をはるかに超えると聞きます。蔵開きに参加する時、われわれは、お酒そのものに加えて、背後にある時間の流れや物語を一緒に味わっているのかもしれない。

出店で提供される地元料理も魅力の一つ。アユやエノハの塩焼き、キノコ汁、タチウオのぐるぐる巻きなど、思い出ただけでヨダレが…。

人との交流も蔵開きの魅力です。他人同士が同じ卓で一杯やるうちに、よもやま話に花が咲き、共通の知人がいると知って驚く。会話の楽しさに、早くも次のシーズンが待ち遠しくなります。

そんな楽しい蔵開きでも、絶対に守るべきことがあります。そう、「飲んだら、乗れん」ですよね。一人一人がルールとマナーを守って、これからも蔵開きを楽しめると良いですね。（日本銀行前大分支店長）